



かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン
新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル

かすみがうらマラソン大会実行委員会

目 次

I. 感染症対策基本方針

- 1. マニュアル策定の目的 3
- 2. 感染症対策に関する体制 3
- 3. 基本方針 4
- 4. 開催の前提条件 5

II. 対象者ごとの運用計画

- 1. 全体共通の協力依頼事項 7
- 2. 対象者ごとの協力依頼事項 8
- 3. 体調管理チェックシートの運用 13

III. 場面ごとの感染予防対策

- 1. 会場計画 16
- 2. 競技運営 17

IV. 感染疑い者等への対応

- 1. 大会当日の対応 19
- 2. 大会終了後の対応 20

I. 感染症対策基本方針

1. マニュアル策定の目的

本マニュアルは、かすみがうらマラソン大会の開催に際して、ランナーをはじめ、競技役員やボランティア、会場設営業者、飲食ブース出店者など大会に関わる全ての方（以下「大会関係者」という。）が遵守すべき事項を規定し、安心・安全な大会運営を図るため作成する。

2. 感染症対策に関する体制

（1）新型コロナウイルス感染症対策部会の設置

- 感染症に関する各種施策を検討するため、競技運営関係者、行政関係者、医療救護関係者による「かすみがうらマラソン大会実行委員会新型コロナウイルス感染症対策部会」を設置する。
- **新型コロナウイルス感染症対策部会**は、感染症予防対策や感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した際の対応について協議し、マニュアルを策定することを目的とする。

（2）新型コロナウイルス感染症対策部会マニュアルの運用及び周知

- 策定した感染症予防対策マニュアルをもとに、大会実行委員会事務局が各種感染症予防対策の準備を進め、大会当日の感染症対策や感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した場合の対応等の運用を行う。
- 大会実行委員会事務局で保健所や、保健部局等行政機関等の連絡の窓口となる。

（3）関係機関との連携

- 茨城県土浦保健所や土浦市医師会など関係機関と連携を図る。

3. 基本方針

(1) 3密の回避

- 密閉空間（換気のできない場所）
- 密集場所（多くの人が密集している）
- 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

上記が想定される場面で「3密」状態回避の設定をする。

(2) 感染予防の基本行動

- こまめに手洗または手指の消毒を行い、清潔を保つ。
- 競技中以外はマスクを着用する。

※フィニッシュエリア到達直後などにマスクの速やかな着用を奨励するが、体温を下げにくくなり熱中症を引き起こす恐れもあることから、息苦しさを感じた場合には周囲との距離を取ったうえでマスクを外して、水分補給や休憩を取るなど無理をしないことも併せて周知するなど、状況によって判断する。

(3) 主催者がすべきこと

- 大会に関わる人それぞれへの感染症対策協力依頼
- 大会に関わる人の健康状況の確認
- スタート・フィニッシュ等各所での3密回避、感染症対策の実施
- 大会で感染者、濃厚接触者、感染疑い者（以下「感染者等」という）が発生した場合の手順の決定
- 開催可否の判断

(4) 大会に関わる全ての人がすべきこと（ランナー、大会/競技役員・運営関係者、メディア等）

- 3密を避けた行動を徹底する。
- 主催者が行う感染症対策（検温・手指消毒・マスク等着用・ごみの持ち帰り等）に同意のうえ参加・協力する。
- 主催者による連絡先の把握、健康状態の管理・報告に協力する。
- 体調管理を徹底し、体調がすぐれない場合は参加しない
- 大会後2週間、感染症についての相談・受診の目安に該当する症状が発生した場合には、必ず医療機関に相談・受診し、感染が確認された場合は主催者に報告する。
- いばらきアマビエちゃんや、COCOA等の感染防止アプリを積極的に活用する。

4. 開催の前提条件

日本陸上競技連盟が作成した「ロードレース再開についてのガイダンス」に基づき、以下の条件が全て満たされている場合にのみ大会を開催する。

1. 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等において課される行動制限下における大会開催については、2021年11月19日に発表されたワクチン・検査パッケージ制度の適用を踏まえて安全な大会運営を検討すること
2. 土浦市・かすみがうら市のガイドライン等により大規模イベントの開催が可能であること。
3. 地域の医療のひっ迫状況の確認等を保健所へ事前に相談しておくこと。
4. 大会関係者の連絡先を把握し、健康状態の管理体制（※）が整えられていること。

（※）健康状態の管理

- ・大会開催1週間前、大会終了後2週間を健康観察期間とし、日本陸連 HP【大会前：提出用】体調管理表・症状チェック表の内容に基づいた体調管理と感染が確認された場合の報告を求める。

5. 「新型コロナウイルス感染症対策室」を設置し、感染者等が発生した場合の手順を定めた「感染症予防対策マニュアル」を作成していること。
6. 大会終了後1か月以内に、以下の事項を日本陸上競技連盟に報告できる体制を整えておく
[報告事項] ①参加者数、②競技役員数、③感染者発生状況（ロードレース1週間前、当日、競技会終了後2週間）など。

上記は基本的な前提条件であり、開催可否の判断については感染状況や医療へのひっ迫度合いなどの各種状況のほか、医療関係者や競技関係者など関係機関からの意見を踏まえて、総合的に判断する。

Ⅱ. 対象者ごとの運用計画

1. 全体共通の協力依頼事項

(1) 開催準備期間

- 新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい 65 才以上の者及び基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている者等）を持っているものは、リスクについて理解したうえで参加する。
- 新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA 等）のインストールを推奨する。
- 計画的にワクチン接種を行うことを推奨するほか、大会直前に各種検査により陰性を確認したうえで参加していただくよう協力を呼びかける。ただし、検査結果の提出については求めないものとする。
- 3つの密を極力避ける生活様式での生活を行う。
- 大会1週間前からは参加者は大会当日まで体調管理アプリ等により、自身の体調状況を確認する。感染疑い症状の発現が認められる場合には、大会への参加を辞退する。

(2) 大会前日・当日

- 体調がすぐれない場合や次の項目に該当する者は参加を見合わせる。
 - ・ 体調管理チェックシートの項目に該当する症状があるまたは体温が 37.5° C 以上の日がある場合
 - ・ PCR 検査や抗原検査で陽性反応があった場合
 - ・ 家族や知人に新型コロナウイルス感染症の感染者又は感染疑い者がいる場合
 - ・ 大会当日の時点で、保健所から濃厚接触者として認められ、定められた健康状態を観察する期間が経過していない場合
 - ・ 大会開催日より過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国、地域等在住者との濃厚接触がある
- マスク着用を必須とし、各自でマスクを持参する。
 - ※競技中のランナーのみ、マスク着用は必須としない。
- 各所に設置されたアルコール等の手指消毒薬で消毒を行う。
- 会場では大きな声を出さず、会話は最小限にする。

(3) 大会終了後

- 大会終了後 2 週間は各自で体調管理を行う。期間内に感染疑い症状を自覚した場合には、各自で必ず医療機関に相談、受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は速やかに大会事務局に報告する。

2. 対象者ごとの協力依頼事項

(1) 参加ランナーへの協力依頼事項

【大会1週間前～大会前日】

- 体調管理アプリや体調管理チェックシートを使って必要事項を記録。大会当日に報告する。
※体調管理アプリによる報告を基本とし、アプリ動作環境が整わない等の理由により対応できないランナーに対しては、紙面で体調管理チェックシートの提出を受け付ける。

【大会当日】

- 起床後に検温を行い、大会会場およびスタート地点に至るまでに体調管理報告をアプリ等を用いて行う。
- スタート前、自宅等で事前に更衣をしたうえで来場する。また、フィニッシュ後は慰労会等は行わず、速やかに更衣し、帰宅する。
- バス乗車時、救護所内・フィニッシュ後を含め競技中以外はマスクを着用する。
- 朝のバス乗車時、川口運動公園入場前に検温を実施する
※発熱が認められるものは隔離スペースで待機後、再検温を行う。
※再検温でも発熱が認められる場合は参加を認めない。
- 待機列等でフィジカルディスタンスを常に保つ。
※ブラインドランナー及び障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。
- 更衣室などの、利用人数の制限に協力する。
- 給食は最小限の手配のため、必要に応じて各自で準備する。
- 唾や痰を吐く行為を行わない。
- 給水給食はランナー自身で取る。
- 川口運動公園内（以下、「大会主会場」と言う）でのフィニッシュ後の給水においては、周囲の人間と十分な距離を取った上で速やかに摂取する。
- 会場内での食事については、飲食指定エリアに移動して摂取する。
- 計測チップはランナー自身で外し、回収箱で回収する。

【大会終了後】

- 大会終了後2週間は各自で体調管理を行う。期間内に感染疑い症状を自覚した場合には、各自で必ず医療機関に相談、受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は速やかに大会事務局に報告する。

(2) 競技役員/大会役員/医療救護スタッフ/ボランティア/大会係員への協力依頼事項

【大会1週間前～大会前日】

- 体調管理チェックシートを使って必要事項を記録する。
- 説明会でもフィジカルディスタンスを確保し、体調がすぐれない人は参加しない。

【大会当日】

- 起床後に検温を行い、体調管理チェックシートを作成し、必要に応じて後日大会事務局に提出できるよう一か月間は保管しておく。
- 作業前・作業後に手指をアルコール消毒液で消毒する。
- ランナーやその他の参加者・スタッフと接触する可能性のあるものは手袋、フェイスシールドの着用を必須とする。
- 業務に従事するにあたってはフィジカルディスタンスを確保する。
※ブラインドランナー及び障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。
- 使用した備品類の定期的なアルコール消毒を行う。
- 休憩や飲食にあたっては、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、黙食に努める。大会主会場付近に従事する者は、飲食指定エリアに移動して摂取することを推奨する。

【大会終了後】

- 大会終了後2週間は各自で体調管理を行う。期間内に感染疑い症状を自覚した場合には、各自で必ず医療機関に相談、受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は速やかに大会事務局に報告する。

(3) 報道機関関係者への協力依頼事項

【大会1週間前～大会前日】

- 体調管理チェックシートを使って必要事項を記録する。

【大会当日】

- 受付時、取材スタッフ全員分の体調管理チェックシートを提出する。
- 随時アルコール消毒液等により手指を消毒する。
- 取材においてはフィジカルディスタンスの確保に努める。
※インタビュー等距離が近くなることが想定される場合はフェイスシールドの着用を義務付ける。
- 業務に従事するにあたってはフィジカルディスタンスを確保する。
- 使用した備品類の定期的なアルコール消毒を行う。
- 休憩や飲食にあたっては、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、黙食に努める。大会主会場付近に従事する者は、飲食指定エリアに移動して摂取することを推奨する。

【大会終了後】

- 大会終了後2週間は各自で体調管理を行う。期間内に感染疑い症状を自覚した場合には、各自で必ず医療機関に相談、受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は速やかに大会事務局に報告する。

(4) 来賓関係者への協力依頼事項

【大会当日】

- 来賓受付で検温を実施する。
- 健康管理チェックシートを受付で記載して提出する。
- 受付時にアルコール消毒液等で手指消毒を行う。
- ランナー等への声かけ、ハイタッチは行わない。

【大会終了後】

- 大会終了後2週間は各自で体調管理を行う。期間内に感染疑い症状を自覚した場合には、各自で必ず医療機関に相談、受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は速やかに大会事務局に報告する。

(5) 出店者への協力依頼事項

【大会1週間前～大会前日】

- 体調管理チェックシートを使って必要事項を記録する。
- 各出店者は、ブースごとに感染対策を盛り込んだ計画を作成し、実施する。

【大会当日】

- 起床後に検温を行い、体調管理チェックシートを作成し、必要に応じて後日大会事務局に提出できるよう保管しておく。
- 作業前・作業後に手指をアルコール消毒液で消毒する。
- 出店者は、各ブース前にアルコール消毒液等を設置する。
- 出店者は、利用者と対面する窓口には遮蔽するためのアクリル板や透明ビニールカーテンを設置する。または、フェイスシールドを着用し飛沫対策を行う。
- 各ブースでは待機列等、フィジカルディスタンスが保たれるよう目印や案内看板にて周知する。
- 各ブースでは大声での客引き等を行わない。
- 不特定多数が接触する場所をアルコールでふき取るなど、定期的な消毒を行う。
- 休憩や飲食にあたっては、飲食指定エリアに移動して摂取することを推奨する。飲食指定エリアの利用が難しい場合には周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、黙食に努める。

【大会終了後】

- 大会終了後2週間は各自で体調管理を行う。期間内に感染疑い症状を自覚した場合には、各自で必ず医療機関に相談、受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は速やかに大会事務局に報告する。

(6) 沿道応援者への協力依頼事項

【大会当日】

- 応援する場合には、大声での声援やハイタッチは行わない。
- 発声を控えるよう徹底し、体調管理チェックシートを用いて体調管理を行える体制を整えた協力団体による応援活動については、大会公認の応援として実施を予定する。
※主催者は以上のことを大会HP等で周知する。

(7) 会場設営等スタッフへの協力依頼事項

【大会1週間前～大会前日】

- 体調管理チェックシートを使って必要事項を記録する。
- 人の集まる事前の打ち合わせは極力減らす。(オンライン会議等の活用)

【大会当日】

- 起床後に検温を行い、体調管理チェックシートを作成し、必要に応じて後日大会事務局に提出できるよう保管しておく。
- 作業前・作業後に手指をアルコール消毒液等で消毒する。
- 業務においてフィジカルディスタンスを確保する。
- 高頻度接触部位（ドアノブ等）は定期的にはアルコール消毒液等で消毒を行う。
- 使用した備品類の定期的なアルコール消毒を行う。終了後も消毒の上、片付ける。
- 出店者は、利用者と対面するものはフェイスシールドを着用し飛沫対策を行う。
- 休憩や飲食にあたっては、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、黙食に努める。大会主会場付近で従事する者は、飲食指定エリアに移動して摂取することを推奨する。

【大会終了後】

- 大会終了後2週間は各自で体調管理を行う。期間内に感染疑い症状を自覚した場合には、各自で必ず医療機関に相談、受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は速やかに大会事務局に報告する。

(8) その他の大会会場入場者への協力依頼事項

【大会当日】

- 体調管理アプリや体調管理チェックシートを用いて、大会開催前一週間の体調管理報告と連絡先を提供してもらう必要があることを理解の上で、大会会場へ入場する。
- 会場内での食事については、飲食指定エリアに移動して摂取する。

【大会終了後】

- 大会終了後2週間は各自で体調管理を行う。期間内に感染疑い症状を自覚した場合には、各自で必ず医療機関に相談、受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は速やかに大会事務局に報告する。

3. 体調管理チェックシートの運用

(1) 運用の目的

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者及び大会関係者を対象に大会開催日一週間前から健康状況の確認を行ってもらい、発熱など感染疑い症状がないこと確認したうえで参加してもらうことを目的とする。

(2) チェック項目

- ① 当日の体温
- ② 平熱を超える発熱
- ③ 咳、のどの痛み等の風邪症状
- ④ 嗅覚や味覚の異常
- ⑤ 倦怠感や呼吸困難
- ⑥ 体が重く感じる、疲れやすい
- ⑦ 陽性者との濃厚接触の有無
- ⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、観察期間が必要とされる国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある

体調管理チェックシート（例）

体調管理についてアプリを使用される方はこの用紙を提出する必要はありません（P13）。このページをコピーもしくは大会ホームページからプリントしていただいでご使用ください。

ランナー

かすみがうらマラソン
兼国際ブラインドマラソン2022

【大会当日提出】

新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

※参加者の方は、できる限り体調管理アプリ（テレサ）をご利用ください。

本チェックシートはかすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソンにおいて新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者等の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断および必要なお連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります。

基本情報

ふりがな		アスリートビブス	
氏名		ナンバー	

◆大会前1週間における健康状態について、以下の項目に1つでも該当する場合、大会に参加いただけません。

- 1 平熱を超える発熱
- 2 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
- 3 だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある
- 4 嗅覚や味覚に異常がある
- 5 体が重く感じる、疲れやすい等がある
- 6 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- 7 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 8 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある

すべての項目に該当しない場合、右の欄に✓を記入してください。

チェック欄

◆大会会場にて新型コロナウイルス感染症またはその疑いがある方が発生した場合、感染症拡大防止のために本チェックシートの内容を必要範囲で保健所に提供することについて同意します。同意される場合は、右の欄に✓を記入してください。

チェック欄

当日ご記入の上、ご持参ください。提出が無い場合はご参加いただけません。

Ⅲ. 場面ごとの感染予防対策

(1) 動線

- 会場への主要な入口に、検温・再検温所を設置（モニタ付きサーマルカメラ及びハンディタイプの非接触式検温機を準備）。
※検温対象はランナー及び付き添い等大会関係者以外の来場者も対象とする。
- 入口から出口への一方通行動線の設定
- 動線上にアルコール消毒液等の設置
- 待機列でのフィジカルディスタンスの確保
- 感染症対策サインの設置

(2) 更衣室

- 入場口に消毒液を設置し入室前の手指消毒を促す。
- 換気を徹底する。
- 短時間での利用とマスク着用を促すサインを設置する。

(3) 荷物預かり所

- ・ セルフピックアップ方式*での運用を行う。
*ランナーが任意の場所に自分で荷物を置き、回収する方式。これまでスタッフが荷物の受け渡しを行っていた運営と比較し、スタッフ数の削減及び参加者との接触場面の回避が可能。

(4) 諸室

- 換気を徹底し、フィジカルディスタンスを確保できる人数に入室を制限する。

(5) 出店

- 物販、飲食等の出店は横幕の上下に可能な限り隙間を作り換気を徹底する。
- ブース内には消毒液を常備
- 行列ができる可能性が認められる場合には、速やかにフィジカルディスタンスを確保し、整列する旨の案内を実施

(6) 飲食/休憩

- 会場内に周囲との距離を十分にとって飲食や休憩が可能なエリア（野球場観覧席）を用意し、飲食時の利用徹底を周知。

2. 競技運営

(1) スタート地点

- ・ フルマラソンにおいてウエーブスタートを導入する。
[フルマラソン]1~3 ウエーブに分け5分間隔でスタートする。各ウエーブは3,000人とする。
※10マイルでもウエーブスタートの導入を予定していたが、参加者少数のため実施しない。
- ・ スタートまでマスク着用の広報並びにゴール後は直ちにマスク着用の広報を徹底
- ・ フィジカルディスタンスの確保

(2) フィニッシュ地点

- 消毒エリア、マスク紛失者対応エリアを設置
- 計測チップ回収容器を用意し、ランナー自身で返却
- 記録証は後日ダウンロードとし配布しない。
- 配布をする必要があるものは、可能な限り係員との接触を避けるよう配慮する。

(3) 給食・給水

- ランナー各自での準備を推奨する。
- 給水給食は飛沫予防対策を実施するほか、一部個包装の食品を用意する。
- 給水所では、テーブルの間隔を拡げることによりランナーの密集を防止する。

(4) 医療（救護所/救護車両/自転車 AED 隊）

- 防護衣、手袋、フェイスシールド、マスクを用意
- 検温で発熱が疑われた場合の再検温所を設置
- 救護所内のレイアウトにおけるフィジカルディスタンスの確保
- 収容車両での回収では乗車定員を減らして運用

(5) トイレ

- ドアノブ等の多数の方が接触する箇所は頻繁に消毒する。
- トイレ使用前に消毒液による手指消毒を励行する。また、ドア付きの仮設トイレ内には消毒液を設置し、退室前の消毒を行うよう呼び掛ける。
- 行列ができる可能性が認められる場合には、速やかにフィジカルディスタンスを確保し、整列する旨の案内を実施する。

(6) ゴミ

- (ア) ランナーに対し、ゴミの持ち帰りを呼びかける。
係員がゴミを拾う場合、火ばさみを用意し

IV. 感染疑い者等への対応

(1) 基本的な対応

- 感染症状を自覚した者が発生した場合は、感染症対策（マスクの着用）を実施したうえで帰宅させ、かかりつけの医療機関に相談するよう促す（以下「基本対応」という）。
- 係員は、感染疑い症状が見受けられる者が発生した場合には、救護本部へ報告し基本対応を実施する。
- 救護本部は、感染症状自覚者発生への報告や連絡があった場合には、基本対応を実施するよう指示し、対応内容を記録する。自立歩行が難しい等、基本対応による対処が難しいと思われる場合には、担架による搬送や救護車の派遣、救急搬送の要請を検討し適宜対処する。
- 参加者及び大会関係者に対して、体調不良を自覚した場合には参加を辞退するよう周知を徹底する。

(2) 大会主会場での対応

- 検温により 37.5 度以上の発熱が確認された場合、再検温所にて十分な時間を置いて再検温を行う。再検温においても 37.5 度以上の発熱が確認された場合には、基本対応を行う。
- 救護所において感染疑い症状が見受けられる者が発生した場合、派遣医師の判断により基本対応または救急搬送等の対応を行い、救護本部へ報告する。
- 体調管理アプリや体調管理チェックシートの提出時に、各感染疑い症状にチェックが付いている者がいた場合には、係員により状況の聞き取りを行い、必要に応じて救護本部へ連絡・相談を行う。チェック欄に記載がなく、健康状態について、各項目に該当することが認められる場合には、大会への参加を認めない。

(3) 会場外での対応

- 走路員などコース上で従事している係員は、感染症状があるランナーから救護を求められた場合は、適切な距離を保ちつつ症状を確認した上で、救護本部に連絡し指示に従う。
- 収容車による搬送を実施した場合は、当該車両を消毒する。
- 咳や発熱など、感染疑い症状が見受けられる者を収容者に乗せる場合には、その者以外の傷病者は搭乗させない。また、対応後は、対応係員が使用していたマスク等の防護用品を交換する。

(4) 陽性者が大会に関わっていたことが判明した場合の対応

- 土浦保健所に速やかに連絡し、指示に従う。参加者名簿の提示を求められたときは、速やかに提出する。

2. 大会終了後の対応

(1) 新型コロナウイルス感染症陽性者になったとの報告を受けた場合

- 感染者が発生したとの報告を受けた場合は、土浦保健所に速やかに連絡し、指示に従う。
- 感染者の個人情報は、新型コロナウイルス感染症対策にのみ使用し、感染者が差別されることのないよう秘匿する。
- 自身が所属する企業及び団体等が定める新型コロナウイルス関係の規定に従い行動するよう促す。

(2) 感染者発生 of 広報

- 大会で感染者が発生した場合には、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）及びいばらきアマビエちゃん登録により、当該ツールからの通知による広報を基本とする。
- 大会からの情報発信については開催地自治体や保健当局との協議の上で、発信の有無や方法について決定する。
- 各自への連絡は原則として実施しない。